

お客様各位

大建工業株式会社
エコ事業部

防火材料等認定書類の取り扱いについてのお願い

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、弊社製品に対しまして格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
弊社で取得運用しております表記書類をご使用になる際に、下記事項をご理解の上で、
取り扱いいただきますようお願いいたします。

敬具

記

1. 使用範囲

この認定書は、確認申請等の手続き時などの必要書類としてのみ使用して下さい。
認定書の記載内容には、技術的な秘密情報が多分に含まれており、当該用途以外を
目的とした複写・転載・配布することの一切を禁止いたします。

2. 産業財産権

この認定書は、弊社での研究・開発行為に基づいて記載された技術情報が含まれており、
その産業財産権は全て弊社に帰属します。認定書記載の内容に基づく特許、実用新案、意
匠、その他一切の出願・登録を禁止いたします。

学会発表、雑誌投稿、カタログ・パンフレットへの掲載等、第三者への開示につきまし
ても同様に禁止といたします。

上記事項に同意いただけない場合は、当該書類を適切且つ速やかに処分下さいますよう
お願いいたします。

以上

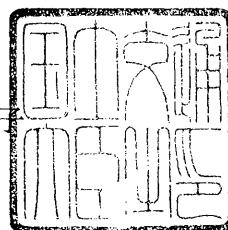


認 定 書

国住指第1446号
平成14年2月4日

大建工業株式会社
取締役社長 六車襄二 様

国土交通大臣 林 寛一



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第1条第五号及び第108条の2（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-9142
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
火山性ガラス質複層板
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

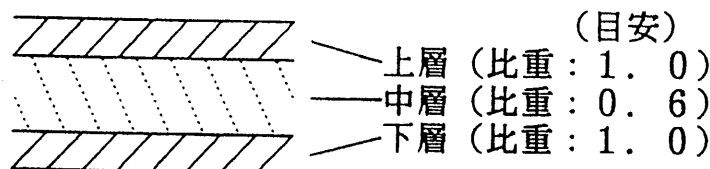
認定番号	準不燃(個) 第2897号	認定年月日：平成8年9月13日
品目名	火山性ガラス質複層板	申請者名：大建工業(株) 富山県東礪波郡井波町井波 1-1
商品名	ダイライトJ	TEL(0763)82-1280 工場名：岡山工場 岡山県岡山市海岸通り2-5- 8 TEL(086)262-1136

1. 主たる用途 建築物の壁又は天井
2. 試験機関名 (財)日本建築総合試験所 受託番号 III C-95-370 III C-95-371
3. 製品の形状、寸法等
 - 1) 形状 : 平板
 - 2) 表面の形状 : 平滑
 - 3) 厚さ (mm)、重量 (kg/m²)

全体厚さ	5.0	6.0	9.0	12.0	15.0	18.0	21.0	25.0	30.0
厚さ許容差±	0.5								
重量	3.5	4.2	6.3	8.4	10.5	12.6	14.7	17.5	21.0
重量許容差±	0.5								

- 4) 大きさ (mm) : 幅 標準 910 455 (最小)、1210 (最大)
長さ 標準1820 910 (最小)、3030 (最大)
- 5) 比重 : 0.70±0.07
- 6) 含水率 (%) : 5 以下 (出荷時)
- 7) 曲げ強度 : 150kgf/cm²以上
4. 防火処理の概要 なし
5. 構成(組成)、断面図
 - 1) 基材 : 火山性ガラス質複層板

断面図



耐火四三五号

2) 組成 : 三層一体成形

(重量%)

表裏層成分	ロックウール粒状綿	50
	無機粉体 (炭酸カルシウム等)	37
	有機系結合剤 (澱粉、フェノール樹脂)	8
	有機繊維 (パルプ等)	5
	ワックス系サイズ剤	0.1 (外割)
芯層成分	軽量骨材 (火山性ガラス質発泡体)	87
	有機系結合剤 (澱粉、フェノール樹脂)	8
	有機繊維 (パルプ等)	5
	ワックス系サイズ剤	0.1 (外割)

3) 厚さ (mm)

全体厚さ	5.0	6.0	9.0	12.0	15.0	18.0	21.0	25.0	30.0
許容差±	0.5								
表層厚さ	0.8	0.9	1.2	1.8	2.5	3.2	3.3	3.5	3.8
許容差±	0.7								
中層厚さ	3.4	4.2	6.6	8.4	10.0	11.6	14.4	18.0	22.4
許容差±	0.7								
裏層厚さ	0.8	0.9	1.2	1.8	2.5	3.2	3.3	3.5	3.8
許容差±	0.7								

耐火四二五号

6. 施工仕様

1) 下地

- ① 天井：野縁受けは455mm間隔に組み、これと直行させて板野縁を455mm間隔に組む。
- ② 壁：間柱は455mm間隔とし、これと直行させて同縁を300~455mm間隔に組む。

2) 加工：切断はボードカッター、丸鋸を用いて行う。

3) 取り付け

① 釘打ち又はビス工法

亜鉛メッキ大平頭釘、ステーブル、カラー釘又はタッピングねじで取り付ける。釘打ちピッチは150mm以下。

② 接着工法 (壁のみ)

酢酸ビニール系樹脂又は無機系接着剤を下地上に150mm間隔に点状塗布し接着剤硬化まで仮押さえにより圧着する。

③ 釘打ち接着剤併用工法

①と②を併用する。但し、仮押さえは不要。

④ GLボンド工法 (壁のみ)

GLボンドをダンゴ状に塗布し接着する。ピッチは300mm以下。

平成19年7月12日
大建工業株式会社

「旧法38条認定の認定移行手続きに伴う大臣認定書の表記修正について」

平成12年6月の建築基準法改正に伴い、それまで法第38条の規定に基づき大臣認定を受けた構造方法等（材料認定、防火構造など）の認定移行手続きが行われました。

この際、改正前の書式から改正後の書式への整合を図るため、国土交通省の事務連絡に従い、別添に該当する個所に、二重線（——）や×といった修正表記（移行後の不要項目の削除等）がされている部分がありますが、これは認定移行に基づく修正であり、正式な「別添」です。

このままご使用ください。

以上

補記)

当認定書（認定番号：QM-9142）は、弊社製品のダイライトMSほかに該当する認定です。

認定書の別添には、商品名<ダイライトJ>と書かれていますが、これは開発時の仮名であり、現在の製品名ではありません。（なお、現在では商品名の記載は不要のため、認定移行時に二重線で削除されています）